

医療安全・渉外対策部

1. スタッフ

【医療安全・渉外対策部】

部長（講師） 齊藤 正昭
副部長・医療メディエーター（看護師長） 亀森 康子

【医療安全管理室】

室長（講師） 齊藤 正昭
室長補佐（看護師長） 大庭 明子
主任看護師 土師麻奈美
薬剤部長（兼） 長谷部忠史
（医薬品安全管理者）
臨床工学部参与（兼） 百瀬 直樹
（医療機器安全管理者）
副薬剤部長（兼） 大塚 潔
事務 田村 敦子
（派遣職員）

【渉外対策・保安支援室】

室長 藤田 吉行
室長補佐 西田 雅裕
主査 鈴木 紗織
事務部参与（兼） 高橋真由美
（医療情報部診療情報管理室参事）

【高難度新規医療技術評価室】

室長（教授）（兼） 野田 弘志
医事課病棟医事係長（兼） 鈴木千亜貴

2. 2023年度活動目標（医療安全管理室）

1) 医療安全文化の啓蒙推進

- （1）報告文化、学習文化の推進
- （2）インシデント報告の推進と活用
 - ・全報告数20,000件/年以上を維持する
 - ・医師からの報告1,200件/年以上（自主的な報告を促す）を維持する

- ・初期研修医の報告を10件/年以上を促す
- ・事務部門からの報告50件/年以上を促す
- ・グッジョブレポート推進する（レポート数に加え、レポートの内容・質でも表彰をする）

（3）医療安全教育の実施

- ・新規採用職員（特に初期研修医・看護師教育）
- ・中途採用職員
- ・委託職員（可能な限り医療安全基礎知識を対面で研修を実施する）

（4）医療安全講演会・講習会の開催と職員参加の推進

eラーニング時のテストだけでなく、CBTなどを活用し理解度・習熟度を高めていく

（5）各部署の自律的医療安全活動の推進とバックアップ

- ・CLIPの是正管理の活用の推進（RM会議や出張勉強会の時間等を利用）
- ・KYT（部署の主任や医療安全推進担当者を中心に実践できるよう支援していく）

2) インシデントの共有とフィードバックした結果の実践について再確認～医療安全文化調査の結果を受けて～

- （1）共有すべきインシデントの内容とその対策の実践について再確認する
- （2）医療安全管理マニュアル以外の手順やマニュアルへ反映されているか確認する（他職種との連携強化）

3) 誤薬事故対策の徹底

- ・部署ごとの誤薬事例を2022年度より減

少させることを目標とする

4) 事例の背後要因分析の推進と課題の明確化

- ・ Quick SAFER分析の推進（どれぐらい分析できているか量で評価する）

3. 業務内容

1) 電子レポートシステムによるインシデント報告のチェックと集計

→現場、状況確認と原因究明、対策の立案実施

→センター長への週間報告：レポート概要説明と事例検討会の決定

2) 医療安全巡視（パトロール）：毎週金曜日にセンター内のほぼ全部署を巡回チェック

→チェック項目：リキャップの有無、酸素ボンベ管理、7S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、さわやか、スマイル）活動状況、個人情報保護、患者確認法、など

→各部署へのフィードバック

3) 各種委員会や検討会への出席

医療安全管理委員会、クオリティ・マネジメント委員会、救命救急センター運営委員会、病歴委員会、感染対策委員会、クリニカルパス推進委員会、手術室運営委員会、病院機能評価受審委員会、院内急性期対応委員会、インフォームドコンセント評価管理委員会、脳死判定委員会、特定行為看護師及び診療看護師の研修・活動支援委員会、医療放射線安全管理委員会、高度治療部運営委員会、放射線治療品質管理小委員会、がん化学療法小委員会、医療技術系会議、看護師長会議、事

例検討会、看護部安全管理委員会、MACTなど

4) 講演会や講習会の開催

医療安全講演会、医療安全講習会、研修医講習会、KYTセミナーなど

5) センター外講演会、講習会、学会への参加による情報収集

6) 保健所立ち入り検査への対応

7) 医療訴訟

8) 顧問弁護士への報告・連絡・相談等

9) 患者相談及び医療行為に起因する苦情等の対応

10) センター内、暴力・暴言等の対応

11) 高難度新規医療技術の提供の適否等

12) その他（私立医科大学協会医療安全相互ラウンド、医療安全対策地域連携加算関連ラウンド、さいたま市医療安全推進協議会など）

4. 実績・クリニカルインディケーター

<委員会・検討会>

1) 医療安全管理委員会：毎月（年12回）開催

2) 医療安全推進担当者会議：毎月（年11回）開催

3) クオリティ・マネジメント委員会：隔月（年6回）開催

4) 事例検討会：7回開催

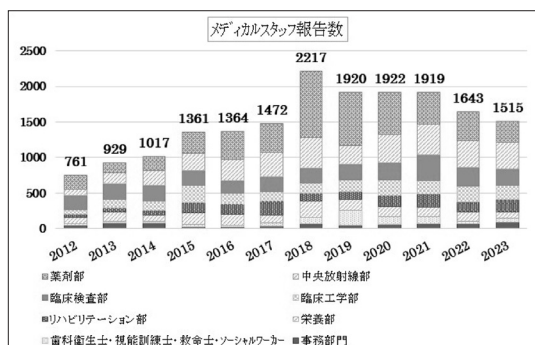
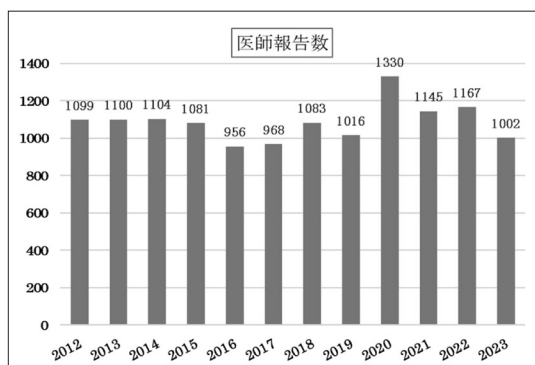
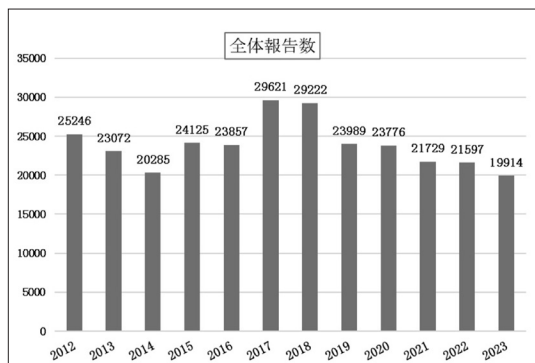
<講演会>

1) 2023年5月26日「院内における肺塞栓症予防対策」浜松医療センター名誉院長 小林隆夫 先生

2) 2023年11月17日「カルテ記載の注意点について～実際の紛争事例を通じて～」顧問弁護士 岡部真勝 先生

＜インシデント報告数＞

2023年度全体の報告数は19,914件であった。



＜原著論文＞

- 1) 大庭明子：転倒・転落防止パーフェクトガイド 多職種とのチーム 組織としての取り組み 学研 2023.5.1初版

＜司会・座長＞

- 1) 亀森康子：医療安全支援センター総合支援事業 全国協議会 2023.1.27 東京
- 2) 亀森康子：2023年度 医療の質・安全学会医療安全管理者養成研修会 2023.7.16 オンライン
- 3) 亀森康子：第37回 日本手術看護学会 2023.10.27-28 福岡国際会議場
- 4) 亀森康子：第18回 医療の質・安全学会 教育講演 2023.11.25-26 神戸
- 5) 亀森康子：第18回 医療の質・安全学会 教育セミナー 2023.11.25-26 神戸

＜講演会 その他＞

- 1) 亀森康子：医療の質・安全学会医療安全管理者継続研修（オンデマンド研修） 2023.2.4 東京
- 2) 亀森康子：2022年度第2回検査・処置・手術安全部会セミナー 2023.2.23 東京
- 3) 亀森康子：医療安全支援センター初任者研修 2023.5.31 東京
- 4) 亀森康子：医療安全支援センター初任者研修 2023.6.6 東京
- 5) 亀森康子：医療安全支援センター初任者研修 2023.6.15 東京
- 6) 亀森康子：2023年度第1回検査・処置・手術安全部会セミナー 2023.7.17 東京
- 7) 亀森康子：埼玉県専任教員講習会 専門領域別看護論演習 2023.7.23 埼玉
- 8) 大庭明子：転倒・転落セミナー 医療

安全推進担当者を介した転倒・転落予防 2023.7.29 東京

- 9) 亀森康子：埼玉県看護協会 医療安全：事故発生時の対応 2023.8.10 埼玉
- 10) 亀森康子：医療の質・安全学会 世界患者安全の日 2023.9.17 東京
- 11) 亀森康子：2023年度 医療の質・安全学会医療安全管理者養成研修会 2023.9.24 東京
- 12) 亀森康子：第41回 医療安全管理者ネットワーク会議 2023.9.30 大阪
- 13) 齊藤正昭：国立保健医療科学院講演 2023.10.18 さいたま医療センター会議室

<学会発表>

- 1) 齊藤正昭：パス改訂によるDPC期間Ⅱ以内での退院率向上への取組み 日本クリニカルパス学会学術集会 2023.11 さいたま
- 2) 齊藤正昭：クリニカルパスを利用した肺血栓塞栓症リスク評価率の向上を目指して 第18回医療の質安全学会学術集会 2023.11 神戸
- 3) 亀森康子：第18回 医療の質・安全学会 初心者セミナー 2023.11.25-26 神戸
- 4) 大庭明子、齊藤正昭、亀森康子、土師麻奈美：「医療安全文化調査の結果と考察」第18回 医療の質・安全学会学術集会 口演 2023.11.26 神戸
- 5) 大庭明子、齊藤正昭、亀森康子、土師麻奈美：パネルディスカッション「医療安全文化調査の活用」「インシデントをどのようにフィードバックしていますか？」～エラーに関するフィードバックとコミュニケーションへのアプ

ローチ～第18回 医療の質・安全学会学術集会 口演 2023.11.26 神戸

- 6) 土師麻奈美、大庭明子、齊藤正昭、亀森康子：「6Rの確認不足」によるインシデントの要因分析～CLIPのカスタマイズにより具体的な安全対策に結びつける～ 第18回医療の質・安全学会学術集会 口演 2023.11.26 神戸

<参加講習会>

- 1) 亀森康子、大庭明子：2022年度患者安全推進全体フォーラム 2023.3.4 オンライン
- 2) 土師麻奈美：医療の質・安全学会医療安全管理者養成研修 2023.6.9、7.15～16、8.18、9.23～24
- 3) 亀森康子、大庭明子、土師麻奈美：第17回 埼玉医療安全大会 2023.11.11
- 4) 亀森康子、大庭明子、土師麻奈美：医療安全全国フォーラム2023 2023.11.23

<センター外活動>

亀森康子

- 1) 日本医療評価機構 認定病院患者安全推進協議会 検査・処置・手術安全部会員として会議に参加し、セミナーの開催運営や検査・処置・手術を安全に遂行するための活動をしています。
- 2) 医療の質・安全学会理事 医療安全支援センター総合支援事業推進委員会担当 医療安全管理者ネットワーク会議のセミナー開催運営、サポートをしています。
- 3) 日本手術看護学会指名理事 日本手術看護学会理事会に参加し、医療安全関連委員会を担当しています。
- 4) 埼玉県医療安全ネットワーク

2013年より埼玉県内の医療安全管理者で、自施設だけでなく県内の医療安全の質向上に寄与する目的で、勉強会の開催など役員として活動しています。

5) 埼玉県医師会・埼玉県看護協会・日本看護協会登録メディエーター

6) 都立病院医療安全推進委員

7) 北里大学病院医療安全監査委員

大庭明子

1) 医療安全全国共同行動「行動目標 9 転倒・転落による傷害の防止」技術支援部会委員

5. 2024年度活動目標（医療安全管理室）

1) 医療安全文化の啓蒙推進

(1) 報告文化、学習文化の推進

(2) インシデント報告の推進と活用

- ・全報告数20,000件/年以上を維持する
- ・医師からの報告1,200件/年以上を（自主的な報告を促す）維持する
- ・初期研修医の報告を10件/年以上を促す
- ・グッジョブレポートを推進する「レポート数に加え、レポートの内容・質でも表彰をする」職種別・部署の取り組み

(3) 医療安全教育の実施

- ・新規採用者職員（特に初期研修医師・看護師教育）
- ・中途採用職員
- ・委託職員 可能な限り対面での医療安全基礎知識の研修を実施する

(4) 医療安全講演会・講習会の開催と職員参加の推進

- ・eラーニング時のテストだけでなく、CBTなどを活用し理解度・習熟度をはかっていく

(5) 各部署の自律的医療安全活動の推進とバックアップ

- ・CLIPの是正管理の活用推進（RM会議や出張勉強会の時間等を利用）

2) インシデントの共有とフィードバックした結果の実践について再確認 ～医療安全文化調査の結果を受けて～

(1) 共有すべきインシデントの内容とその対策の実践について再確認する

(2) 他職種との情報共有 特に転棟時の情報共有と改善に努める

3) 誤薬事故対策の徹底

(1) 部署ごとの誤薬事例を2023年度より減少させる

(2) 麻薬に関する事例を2023年度より減少させる